

矢小だより

第19号
令和7年7月14日
由利本荘市立矢島小学校

浄水場見学に行きました！

7月11日（金）に、4年生が校外学習に出かけました。今回見学したのは、矢島浄水場です。4年生の子どもたちは、社会科で「健康なくらしとまちづくり」について学習しています。子どもたちは、職員の方の説明をしっかりと聞き、質問もしていました。浄水場の仕組みや働く人々の工夫などを知ること、浄水場の役割はもちろん、水の大切さにも気付いたことでしょう。とても貴重な体験でしたね。



保育園に行ってきたよ！

1年生が、懐かしい矢島保育園を訪問し、年長の子どもたちに「大きなかぶ」の音読劇を披露しました。最初は少し緊張した表情も見られました。しかし、1年生の子どもたちは、台詞の言い方や動き方を工夫しながら練習を重ねてきた成果を、存分に発揮することができていました。そして、最後はみんな笑顔で締めくくることができました。素敵なお兄さんお姉さんの姿を見てもらうことができましたね！



矢島健児のがんばり！

7月5日（土）第30回子吉川フェア水辺健康マラソン

小学1～3年生女子の部 第3位 藤原 **

7月5日（土）由利本荘市にかほ市スポーツ少年団競技別交流会 卓球競技

男子団体 第3位 矢島・西目スポ少

7月5日（土）第55回本荘由利小学校卓球大会

6年男子の部 第3位 三浦 **

5年女子の部 優勝 高橋 *

3年以下女子の部 第3位 三浦 **



由利本荘市立矢島小学校 〒015-0404 秋田県由利本荘市矢島町七日町字助の淵1-4

URL : <https://edu2.city.yurihonjo.lg.jp/yashima-es/>

電話 : 56-2069 / FAX55-2721



夏休みを前に



夏休みが近付いてきました。子どもたちも、きっとワクワクしていることでしょう。夏休みは30日を超える期間ですから、勉強、運動、お手伝いなど、いろいろなことに取り組んでほしいと思います。

さて、夏休み中にぜひ取り組んでほしいこととして、ここでは「読書」を取り上げます。読書には、いろいろな物事を知ることにつながる、よく考えることにつながる、想像力を高めることにつながるなど、よい影響がたくさんあります。ですから、休みの間、本を手にする時間を大切にしてほしいと思います。

また、できれば、休み中はもちろん、休みが明けてからも、少しでも多くの本を読んでほしいと思います。なぜなら、読書が好きになるきっかけになる本、一生忘れられない本、心の支えになる本、生き方に影響を与える本などと出会うチャンスが増えるからです。そのような本に、若いうちに1冊でも多く出会えたなら、人生はきっと豊かになるはずですよ。

子どもたちにとって、夏休みは自由に使うことができる時間が増えますので、時間の使い方をコントロールすることが大切になります。そして、ゲームをする時間が増えることも考えられます。ご存じの方も多いと思いますが、ゲームは人間の脳に大きな影響を及ぼします。子どもたちがこの時期に身に付けるべきことをつかさどる部分の発達を阻害するという話を聞くと、とても心配な気持ちになります。

また、やり続けているうちに、脳が影響を受け、「やらずにられない、やめることができない」状態になることも知られています。そもそも、やりたくなるように、続けたくなるように、とても上手に作られているわけですが…

「ゲームばかり…」よく耳にする（口にする）言葉です。子どもたちのゲームとの付き合い方について、私たち大人は、与えた側としての責任感を問われているのだと思います。

「ぜひ読書を」という話題でした。まずは本を手にしなないことには始まりません。学校の図書館の本はもちろん、他の図書館の本でもよいと思います。書店で売っている本でもよいと思います。この夏、家族で読書、いかがですか？

※私が読書の面白さに目覚めたのは、小学3年生の時に読んだ、シャーロック・ホームズが登場する一冊です。面白さに衝撃を受けました。タイトルもはっきり覚えていて、心に残り影響を受けた本はたくさんありますが、あえて挙げるのであれば、吉川英治作の「宮本武蔵」です。「まさに名作！」です。